

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号番号	1	施設管理者	焼津市
路線名	廻沢線	林道種類及び区分	自動車道2種2級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	焼津市花沢	起点からの距離	0.2km	建設年度	1956
供用年数	64	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	岡部川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.0m(-)		幅員(車道幅員)	3.9m(3.6m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	無
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	3.4km		
施設の目的利用実態等	林道廻沢線の利用区域には、森林が多く存在することから、一般車両の通行は少ないが、当該施設は森林管理者等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月13日				
	調査結果	上部工に鉄筋露出、下部工に剥離が見られた。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	上部工は施工不良によるかぶり不足、下部工は流水によるものと考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度				
	内容	断面修復工による補修を行う。				
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましいが、次回点検にて損傷を把握した後、優先度を考慮して、令和8年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 交通量及び重要度が低い為、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	断面修復工 約1,300千円				
管理方法	長寿命化対策として、上部工及び下部工の断面修復工を早期に行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						-		1.3		
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検		断面修復工		

備 考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号番号	1	施設管理者	焼津市
路線名	廻沢線	林道種類及び区分	自動車道2種2級	橋梁名	2号橋
施設の所在地	藤枝市岡部	起点からの距離	0.8km	建設年度	1957
供用年数	63	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	岡部川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.6m(-)		幅員(車道幅員)	3.9m(3.6m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	—
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式	—		海岸からの距離	2.9km		
施設の目的利用実態等	林道廻沢線の利用区域には、森林が多く存在することから、一般車両の通行は少ないが、当該施設は森林管理者等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月13日				
	調査結果	上部工に鉄筋露出が見られた。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	上部工は施工不良によるかぶり不足によるものと考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度				
	内容	断面修復工による補修を行う。				
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましいが、次回点検にて損傷を把握した後、優先度を考慮して、令和9年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 交通量及び重要度が低い為、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	断面修復工 約 1,500千円				
管理方法	長寿命化対策として、上部工の断面修復工を早期に行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						-			1.5	
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検			断面修復工	

備 考
地覆に剥離が見られた。[経過観察]

個別施設整理番号	3	林道台帳索引番号番号	1	施設管理者	焼津市
路線名	廻沢線	林道種類及び区分	自動車道2種2級	橋梁名	3号橋
施設の所在地	焼津市花沢	起点からの距離	3.8km	建設年度	1971
供用年数	49	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.4m(-)		幅員(車道幅員)	4.3m(3.6m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	—
		支承形式	鋼支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式	—		海岸からの距離	2.1km		
施設の目的利用実態等	林道廻沢線の利用区域には、森林が多く存在することから、一般車両の通行は少ないが、当該施設は森林管理者等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月21日				
	調査結果	主桁、床版及び支承部に腐食、下部工に鉄筋露出が見られた。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	上部工は材料劣化による腐食、支承部は伸縮部からの漏水、下部工は施工不良によるかぶり不足によるものと考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度				
	内容	上部工は塗装塗替え工、下部工は断面補修工による補修を行う。				
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましいが、次回点検にて損傷を把握した後、優先度を考慮して、令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 交通状況を勘案し、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	塗装塗替え工 約 8,700千円 断面修復工 約 80千円 吊足場 約 820千円				
管理方法	長寿命化対策として、上部工、支承部の塗装塗替え工及び下部工の断面修復工を早期に行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						-	9.6			
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検	補修工事			

備 考
地覆、排水管(オーバーレイにより閉塞)に腐食が見られた。補修が望ましい状態。

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	4	林道台帳索引番号番号	1	施設管理者	焼津市
路線名	廻沢線	林道種類及び区分	自動車道2種2級	橋梁名	4号橋
施設の所在地	焼津市吉津	起点からの距離	4.4km	建設年度	1972
供用年数	48	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.4m(-)		幅員(車道幅員)	4.2m(3.6m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	無
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	1.8km		
施設の目的利用実態等	林道廻沢線の利用区域には、森林が多く存在することから、一般車両の通行は少ないが、当該施設は森林管理者等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月13日				
	調査結果	主要部材に軽微な損傷があるが、健全な状態。				
	健全性の診断結果	I (健全)	橋梁の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	損傷はなく、健全な状態である。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度				
	内容	-				
	実施予定時期	-				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷はなく健全なため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	-				
管理方法	長寿命化対策として、道路パトロールに加え、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						-				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										
舗装にひびわれが見られた。舗装のひびわれは、走行安全上支障はないので近隣の舗装工事に併せて補修計画をすることが望ましい。										